

栄養解析

のごあんない



健康診断では「異常なし」、でも…

疲れやすい、肩がこる、血圧が高い、最近太った、元気が出ない
など気になることはありませんか？

それは、病気になる前のサインかもしれません。

原因は、
栄養バランスの乱れ
かもしれません。

同じ検査項目でも、
分子整合栄養医学 (オーソモレキュラー) に基づいて見ると、
あなたの不調の原因が見えてきます。

分子整合栄養医学 (オーソモレキュラー) 的解釈の一例

脱水、炎症などのデータが変化する要因を除く

検査項目	通常の診断対象	全身状態、 タンパク代謝	脂質代謝	糖代謝	ビタミン 不足	ミネラル 不足	酸化 ストレス	筋量 低下
総蛋白	栄養状態、肝臓・腎臓	●					●	
アルブミン	栄養状態、肝機能	●						
間接ビリルビン	肝臓疾患	●					●	
AST (GOT)	肝機能	●			● ※1		●	
ALT (GPT)	肝機能	●			● ※1		●	
ALP	肝機能					● ※3		
LDH	貧血、炎症、骨疾患	●			● ※2			
γ-GTP	肝臓、胆道系疾患	●					●	
コリンエステラーゼ	肝臓疾患	●	●					
総コレステロール	高コレステロール血症	●	●	●				
LDLコレステロール	冠動脈疾患のリスク	●	●	●				
HDLコレステロール	動脈硬化のリスク	●	●					
中性脂肪	肥満の状態	●	●	●			●	
尿素窒素	腎臓機能	●						
クレアチニン	腎臓機能	●						●
ヘモグロビン	貧血	●			● ※1	● ※4		
ヘマトクリット	貧血	●				● ※4		
血清鉄	貧血	●				● ※4	●	
フェリチン	悪性腫瘍	●				● ※4		

※1:特にビタミンB6 ※2:特にナイアシン ※3:特に亜鉛 ※4:特に鉄

詳しい解析レポートをお作りし、ご説明いたします。

お食事の指導や医科向けサプリメントの選択を行います。

ご希望に応じて、3~6か月後に効果判定を行います。

当院の医師・スタッフにお気軽にお問い合わせください。

もしかして、私、 ○○不足・・・？



以下の項目の中で、該当するものをチェックしてみましょう。
さまざまな体と心の症状と栄養の状態は、とても関係があります。

10項目のうち3項目以上が該当

鉄欠乏の可能性大

Fe

- 1 たちくらみ、めまい、耳鳴りがする
- 2 肩こり、背部痛、関節痛、筋肉痛がある
- 3 頭痛、頭重になりやすい
- 4 力が弱くなった
- 5 よくアザができる
- 6 のどに不快感(つかえ感)がある
- 7 階段を上ると疲れる
- 8 夕方に疲れて横になることがある
- 9 生理前に不調になる
- 10 生理の出血量が多い

10項目のうち3項目以上が該当

タン白欠乏かも？

Pro

- 1 肉や卵などはあまり食べない
- 2 野菜中心、あるいは和食中心である
- 3 タン白質は大豆食品から十分摂れると思う
- 4 ご飯やパン、麺などで食事を済ませてしまう
- 5 成長期である
- 6 妊娠、授乳中である
- 7 ステロイド剤を使用している
- 8 スポーツをする。あるいは肉体労働である
- 9 胃薬をよく使う
- 10 腕や太ももが細くなった

10項目のうち3項目以上が該当

亜鉛欠乏の可能性大

Zn

- 1 風邪をひきやすい
- 2 洗髪時、髪が抜けやすい
- 3 食欲不振になりやすい
- 4 肌が乾燥しやすい
- 5 傷の治りが悪い、跡が残りやすい
- 6 爪に白い斑点がある
- 7 味覚や嗅覚が鈍い
- 8 性欲が落ちた
- 9 ネックレスなどで皮膚炎が起こる
- 10 傷や虫刺されが膿みやすい

10項目のうち3項目以上が該当

ビタミンB欠乏？

VB

- 1 アルコールをよく飲む
- 2 音に敏感だ
- 3 イライラしやすい
- 4 集中力が続かない
- 5 記憶力が衰えている
- 6 よく悪夢を見る
- 7 テレビがわずらわしい
- 8 読書しても頭に入らない、興味がなくなった
- 9 寝ても疲れが取れない。とにかく疲れる
- 10 口内炎がよくできる

どの栄養素が、どのくらい不足しているのか？
それを知る方法が「栄養解析」です。

詳しくは裏面へ



なぜ栄養解析が必要なのでしょう？

症状からの判断だけでは把握しきれない身体の状態を
詳細な血液検査から科学的に知る方法が「栄養解析」です

どんな栄養素がどのくらい不足しているのかを数値で知ることができます。
栄養の不足が気になる、自分に合った効果的な栄養補給をしたい。
必要な栄養素を的確に補充することで、健康的で美しい身体を目指していきます。

■ 栄養解析の流れ

問診記入・血液検査

現在のお悩みや症状を把握するための
事前チェックリストへのご記入や、
血液・尿の検査を行って頂きます



栄養解析レポート

検査データに基づき医師が作成した、
「栄養解析レポート」をご説明致します



あなたに合った サプリメントを処方

「栄養解析レポート」に基づき、
最適なサプリメントをご提案します



栄養補給の方法は、他と何が違うのでしょうか？

病態 症状の改善・検査データの効果判定が可能な
医療機関のみで取り扱いしているサプリメントを使用します

お食事をしっかり摂っていてもまかないきれない栄養素の補給が必要です。
サプリメントは「どれも同じ」ではなく医師が使用するサプリメントは明らかに違います。



- 高濃度・高品質で効率の良い摂取も考慮しています。
- 吸収率や相乗効果を考えて天然物由来の混合体で作っています。
- 日本人の体質にあうように研究・開発を行なっています。
- 公益財団法人日本健康・栄養食品協会（平成4年厚生大臣認可）
認定のGMP工場にて、原料の受け入れから最終製品の出荷に至る
まで、厳重な管理基準の下、安全かつ高品質に製造されています。